

研究実施のお知らせ

2023年4月14日 ver.1.0

2023年4月20日 ver.1.1

研究課題名

SGLT2 阻害剤および GLP-1 受容体作動薬による筋肉および骨量減少に関連する因子の検討（後方視的）

研究の対象となる方

2014年4月から2022年12月の間に島根大学医学部附属病院で2型糖尿病と診断され、入院治療を受けられた方

研究の目的・意義

2型糖尿病患者さんの治療薬のうち、SGLT2 阻害剤（ジャディアンス、フォシーガ、カナグルなど）および GLP-1 受容体作動薬（ビクトーザ、オゼンピックなど）により、体重が減少する方がおられます。一般的に、体重が減る際に脂肪が最も減りやすいことが示されていますが、中には筋肉や骨の量が減少する方もいらっしゃいます。

そこで今回、筋肉や骨の量が大幅に減少する患者さんがおられるかどうか、また、どのような特徴がある患者さんで大幅に減少するのかについて明らかにするために今回の研究を計画しました。

研究を通して、筋肉量や骨の量が大幅に減少する方の特徴が分かれば、そのような患者さんにこれら薬剤を使用いただく際に注意を促すことができると考えています。

研究の方法

当科に入院された2型糖尿病患者さんの性別、年齢、身長、体重、使用薬剤、過去に骨折されたことがあるか、ご家族の骨折歴の有無、血液検査の結果（肝機能、腎機能、HbA1c、コレステロール、尿中アルブミン）、骨密度、筋肉量などを診療録より抽出させていただきます。この情報をもとに、SGLT2 阻害剤または GLP-1 受容体作動薬開始後に筋量や骨量が大幅に減少された患者さんの特徴について解析・検討します。

研究の期間

2023年05月10日～2024年12月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：野津 雅和

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650